

読響

Yomiuri Nippon
Symphony
Orchestra
55th Anniversary

Sylvain Cambreling ×
Yomiuri Nippon Symphony Orchestra

MESSIAEN Saint François d'Assise

Concert style, Japan premiere



©Chiharu Kihara

すべてに愛をこめて。

2017年11月。それは、日本の演奏史に刻まれる。

読響創立55周年&メシアン没後25周年記念

メシアン 歌劇「アッシジの聖フランチェスコ」

指揮=シルヴァン・カンブルラン
天使=エメグ・バラート(ソプラノ)
聖フランチェスコ=ヴァンサン・ルクシエ(バリトン)
重い皮膚病を患う人=ペーター・ブロンダー(テノール)
兄弟レオネ=フィリップ・スライ(バリトン)



兄弟マッセオ=エド・ライオン(テノール)
兄弟エリア=ジャン=ノエル・ブリアン(テノール)
兄弟ベルナルド=妻屋秀和(バス)
兄弟シルヴェストロ=ジョン・ハオ(バス)

兄弟ルフィーノ=畠山茂(バス)
合唱=新国立劇場合唱団
びわ湖ホール声楽アンサンブル
(合唱指揮=冨平基平)

演奏会形式・全3幕
仏語上演・日本語字幕付き
全曲日本初演
約5時間半(休憩2回含む)

読売日本交響楽団 第572回 定期演奏会

11/19日 14時開演 サントリーホール

~~SY14,000 AY12,000 BY10,000 CY9,000~~

Subscription Concert No.572 / Sun. 19th Nov. 2017, 14:00 / Suntory Hall

読売日本交響楽団 第606回 名曲シリーズ

11/26日 14時開演 サントリーホール

~~SY14,000 AY12,000 BY10,000 CY9,000~~

Popular Series No.606 / Sun. 26th Nov. 2017, 14:00 / Suntory Hall

東京公演
完売

読響チケットセンター 0570-00-4390 (10時-18時・年中無休)

主催:読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団、びわ湖ホール

助成:文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)、公益財団法人アフィニス文化財団
協力:アフラック(11/19公演)、日本アルバン・バルク協会

「音楽文化の担い手としてのプロ・オーケストラが主催する、わが国ならびに各楽団が活動の重点を置いている地域にとって意義がある企画」として選ばれました。

20世紀最大の傑作オペラ、遂に日本初演！

1983年11月、クラシック音楽界を大きな衝撃が襲いました。オリヴィエ・メシアンが作曲した歌劇「アッジジの聖フランチェスコ」が、パリ・オペラ座で世界初演されたのです。

8年もの歳月をかけて完成された作品は、通常のオペラの概念をはるかに越えた5時間もの大作でした。聴衆の人生観を変えるほどの、20世紀を代表する傑作が生まれました。

題材は、中世イタリアに生きたアッジジの聖フランチェスコ。彼が聖人となる奇跡のエピソード、天使との対話、鳥たちへの説教などの場面が描かれています。全編にわたり、鳥の鳴き声に満ち溢れ、自然への愛が豊かな色彩感で表されています。

楽器編成は変則7管編成で、約40種の打楽器、3台のオンド・マルトノなど約110人の管弦楽、約120人の合唱という空前の大規模なもの。全3幕8景で構成され、上演時間は約5時間半を要します。

国内では、31年前に部分的に演奏されただけ。今回が初の全曲演奏です。「この作品では、毎回必ず奇跡が起こる」と語る指揮者カンブルラン。世界最多の24回も指揮したマエストロと豪華歌手らが、歴史に残る演奏を繰り広げます。



シルヴァン・カンブルラン (指揮)
SYLVAIN CAMBRELING, Conductor

色彩豊かな音楽作りで、読響を世界のトップレベルへと導く名匠。1948年フランス・アミアン生まれ。2010年から読響常任指揮者を務め、古典から現代まで幅広いレパートリーを演奏し、高い評価を得ている。現在、シュトゥットガルト歌劇場の音楽総監督を務めるほか、クラウンフォーラム・ウィーン的首席客演指揮者も兼任している。

演奏会形式・全3幕8景・仏語上演・日本語字幕付き

- 第1幕 第1景「十字架」
第2景「賛歌」
第3景「重い皮膚病患者への接吻」
第2幕 第4景「旅する天使」
第5景「音楽を奏でる天使」
第6景「鳥たちへの説教」
第3幕 第7景「聖痕」
第8景「死と新生」

<http://yomikyo.or.jp/>



エメーケ・バラート (ソプラノ)
EMÖKE BARÁTH, Soprano

欧州で注目を浴びるハンガリーの新星。ミンコフスキ、アイム、サヴァールらと共演。今年もクリスティの指揮でグラインドボーン音楽祭に出演し絶賛された。



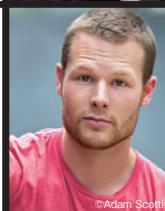
ヴァンサン・ル・テクシエ (バリトン)
Vincent Le Texier, Baritone

20年以上にわたり世界各地で活躍しているフランスの名匠。近年もザルツブルク音楽祭、ミラノ・スカラ座、モネ劇場、ケルン歌劇場などで活躍している。



ペーター・ブロンダー (テノール)
PETER BRÖNDLER, Tenor

幅広いレパートリーを持ち、伸びやかな美声で魅了するベテラン。今シーズンも英ロイヤル・オペラやパリ・オペラ座などへの出演が決まっている。



フィリップ・スライ (バリトン)
PHILIPPE SLY, Baritone

欧米で活躍する期待の若手バリトン。パリ・オペラ座などで歌い、今夏エクサン・プロヴァンス音楽祭でのドン・ジョヴァンニ役で大成功を収めた。



エド・ライオン (テノール)
ED LYON, Tenor

カンブルランの信頼も厚いイギリスの名テノール。ザルツブルク音楽祭やシュトゥットガルト歌劇場などで古典派から現代作品まで歌っている。



ジャン＝ノエル・ブリアン (テノール)
JEAN-NOËL BRIAND, Tenor

「ホフマン物語」のタイトルロールで脚光を浴びているフランスの実力派。リヨン国立歌劇場やマドリッド王立劇場などで歌い、現代作品での評価も高い。



妻屋秀和 (バス)
HIDEKAZU TSUMAYA, Bass

ライブツィヒ歌劇場やワイマール国民劇場でも活躍した日本が誇る名歌手。今年7月の二期会「ばらの騎士」のオックス役でも絶賛を博した。

読売日本交響楽団 第572回 定期演奏会

2017年11月19日(日)14時開演
S ¥14,000 / A ¥12,000 / B ¥10,000 / C ¥9,000

読売日本交響楽団 第606回 名曲シリーズ

2017年11月26日(日)14時開演
S ¥14,000 / A ¥12,000 / B ¥10,000 / C ¥9,000

サントリーホール

東京都港区赤坂1-13-1 Tel. 03-3505-1001
●東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅(3番出口)より徒歩約5分
●東京メトロ銀座線「溜池山王」駅(13番出口)より徒歩約7分

東京公演
完売

学生券: 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥3,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。あらかじめご了承ください。■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390
*10時~18時・年中無休

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>
*座席選択してチケットをご購入いただけます(一部、携帯電話、スマートフォンなどを除く)。*郵送でチケットを受け取る場合、送料は無料です。

読売日本交響楽団・びわ湖ホール共同主催 特別公演

2017年11月23日(木・祝)13時開演 滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール
SS ¥16,000 / S ¥14,000 / A ¥12,000 / B ¥10,000 / C ¥9,000 / D ¥7,000 / E ¥5,000 / U30(30歳以下) ¥3,000 / U24(24歳以下) ¥2,000

お問い合わせ: びわ湖ホールチケットセンター 077-523-7136(10時~19時・火曜休館) www.biwako-hall.or.jp

主催: びわ湖ホール、読売日本交響楽団 助成: 芸術文化振興基金助成事業
協力: 日本アルバン・ベルク協会、しがぎん経済文化センター